

《担当者名》歯学部教授 / 三浦 宏子

【概要】

個人及び集団に対する歯科疾患の予防および口腔保健の向上を図るための知識および技術を理解し、この問題の解決に必要な態度を養う。

【学修目標】

一般目標

すでに低学年で学んだ口腔衛生学を基盤として、口腔衛生に対する理解をより一層深める。

行動目標

歯科衛生士として、口腔衛生学を十分習得し、卒業に値する総合的知識を身につける。

到達目標

歯科衛生士として、単に歯科治療の補助を行うのみならず、個人、集団に対して疾患の予防、健康増進に寄与するための基盤となる知識を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯・口の健康と歯科疾患の予防	歯・口の健康保持・増進のことを口腔保健といい、そのためには3つの時期、5つのステップがあることを学ぶ。	三浦 宏子
2 3	口腔の不潔因子と歯口清掃	口腔の不潔因子として歯の付着物・沈着物があり、その清掃法に、自然的、人工的および手術的清掃法があることを理解する。	三浦 宏子
4	歯磨剤	歯磨剤の分類、効果について理解する。	三浦 宏子
5	う蝕の疫学	齲蝕の発生要因について理解する。 齲蝕の予防のための対策について知る。	三浦 宏子
6	齲蝕リスク評価	齲蝕リスク評価の意義、内容について知る。	三浦 宏子
7 8	齲蝕の予防	フッ化物応用による齲蝕予防とポピュレーションアプローチを理解する。	三浦 宏子
9	歯周疾患の疫学	歯周疾患予防に対する予防法として効果的なブラークコントロールが最も重要であることを理解する。	三浦 宏子
10	歯周疾患の予防	歯周疾患予防におけるセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアを理解する。	三浦 宏子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版 医歯薬出版

【参考書】

歯科衛生士書き込み式学習ノート 社会歯科系科目編 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 医歯薬出版

【学修の準備】

教科書を必ず持参すること。また、授業後に必ず復習すること。